

第35回全国産業教育フェア福島大会 マイスター・ハイスクール事業発表会

DX時代をリードする 高度介護人材の育成

—愛知から始まる高校福祉の新潮流—

愛知県立古知野高等学校 福祉科

目次

01

古知野高校について

02

事業テーマ / MHSビジョン

03

目指すべき姿

04

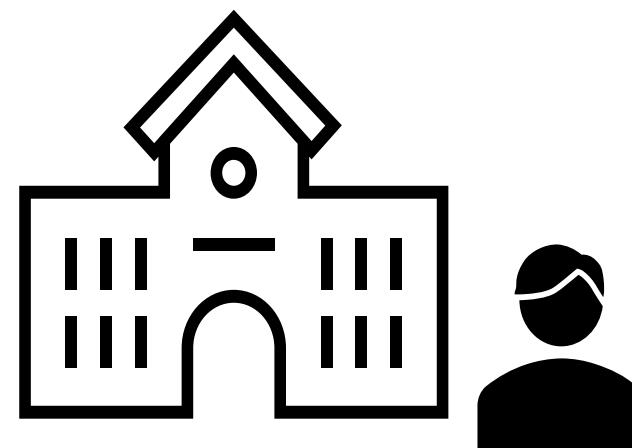
私たちの取り組み

05

今後について

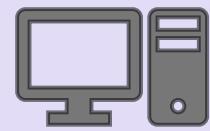
古知野高校について

1949（昭和24）年に小牧高校の分校として開設、3年後古知野高校として独立



古知野高校について

1949（昭和24）年に小牧高校の分校として開設、3年後古知野高校として独立



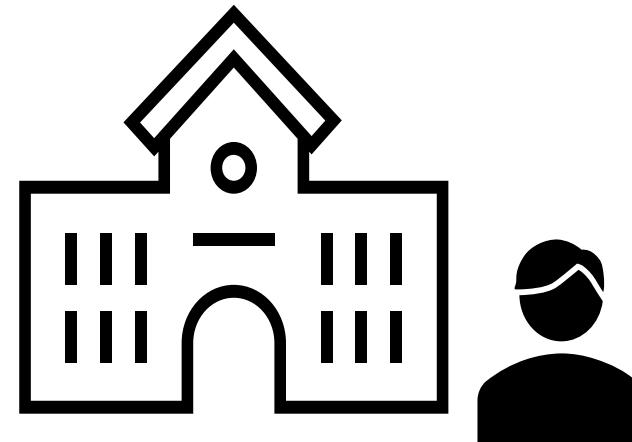
商業科



生活文化科

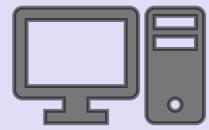


福祉科



古知野高校について

1949（昭和24）年に小牧高校の分校として開設、3年後古知野高校として独立



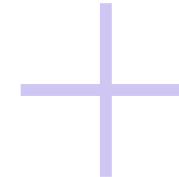
商業科



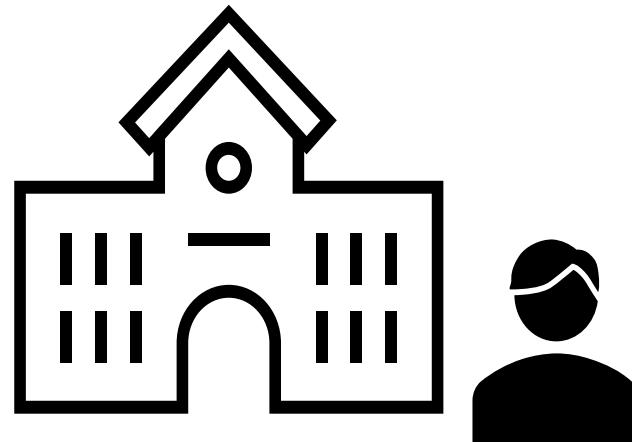
生活文化科



福祉科



定時制
(普通科)



古知野高校について



福祉科

福祉科は平成9年度の開設以来、29年目を迎えた。

これまで、800名以上の
介護福祉士を輩出している

事業テーマ/MHSビジョン

DX時代をリードする高度介護人材の育成 - 愛知から始まる高校福祉の新潮流 -



01

科学的裏付けに基づく介護（EBC）を実践するために必要な、高度な介護スキルを育成する。

02

課題解決型学習（KOCHINO PBL）を通して地域の課題解決に挑戦し、DX時代に必要なリーダーシップや課題解決能力を養う。

03

拠点校の取り組みの成果を他校に還元し、福祉を学ぶ高校と産業界との新たな連携を創出する。

科学的裏付けに基づく介護 (EBC)

科学的介護？

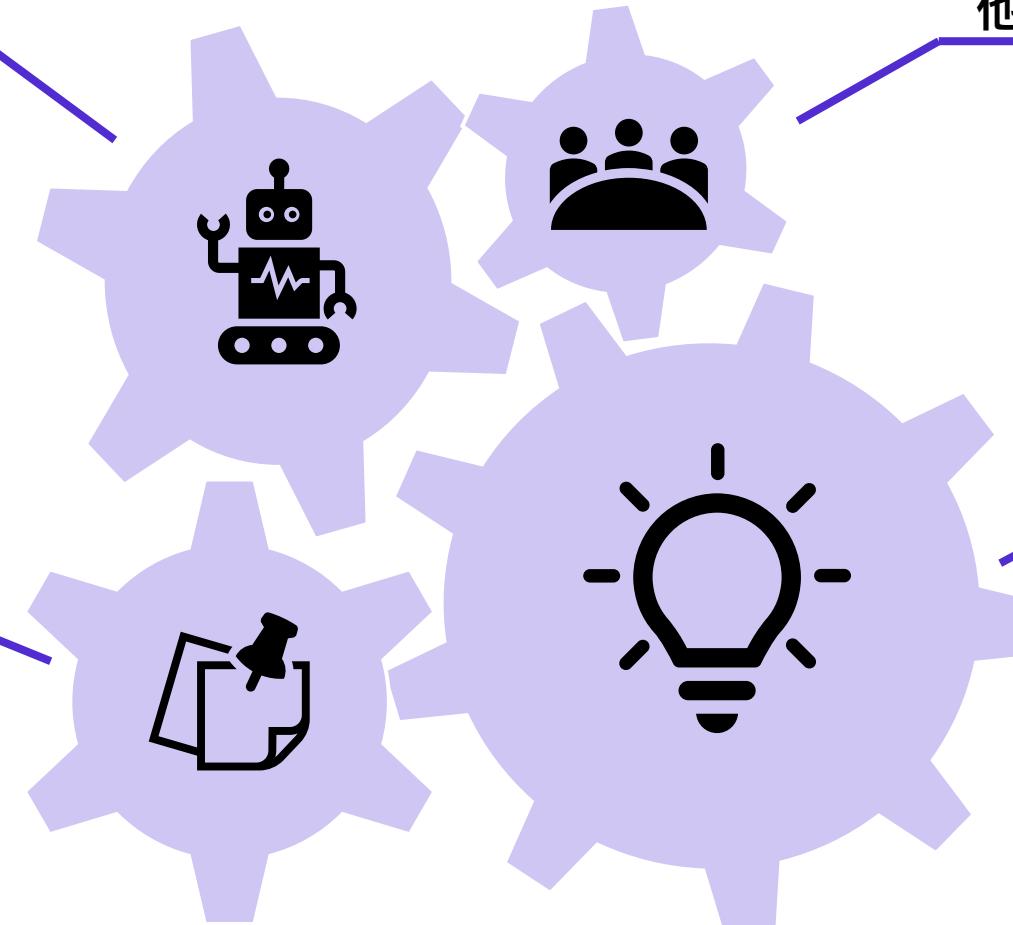
= Evidence Based Care

介護をよりよくするためにデータを活用する方法



目指すべき姿

テクノロジーを活用する力



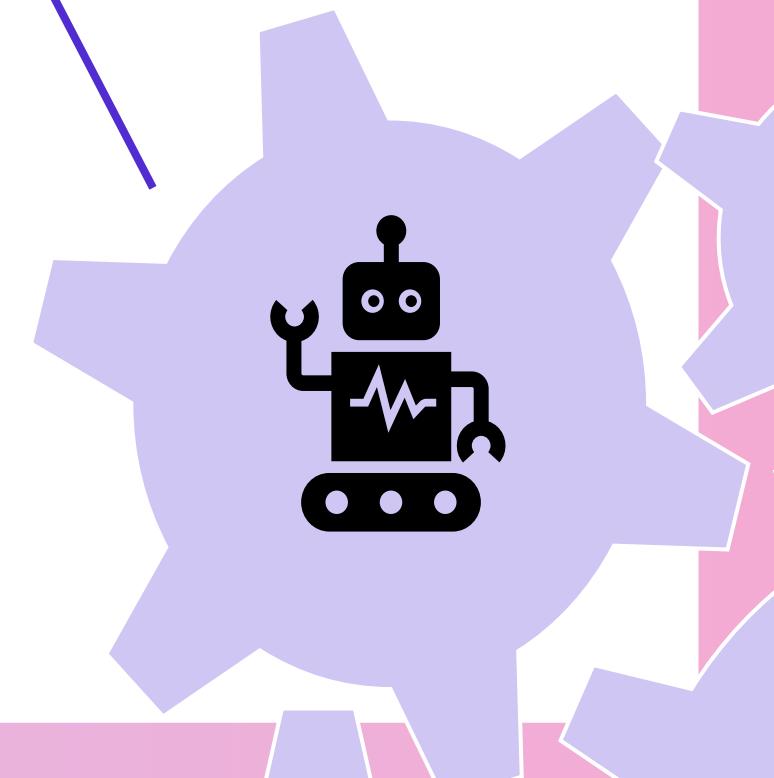
他者と協調・協働する力

情報活用能力

課題解決能力

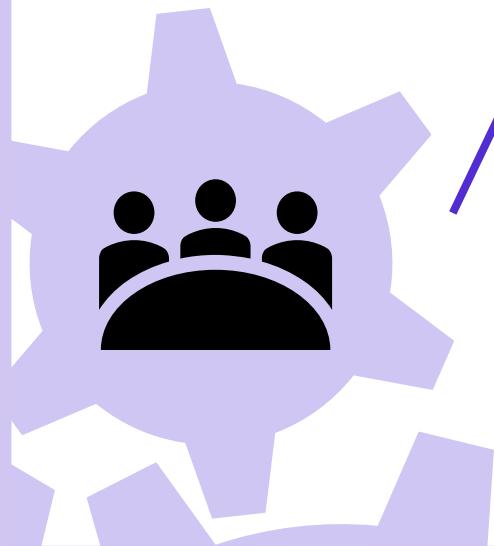
テクノロジーを活用する力

介護ロボットやICT機器を効果的に活用し、生産性向上と質の高いケアを実現する力を育成する。



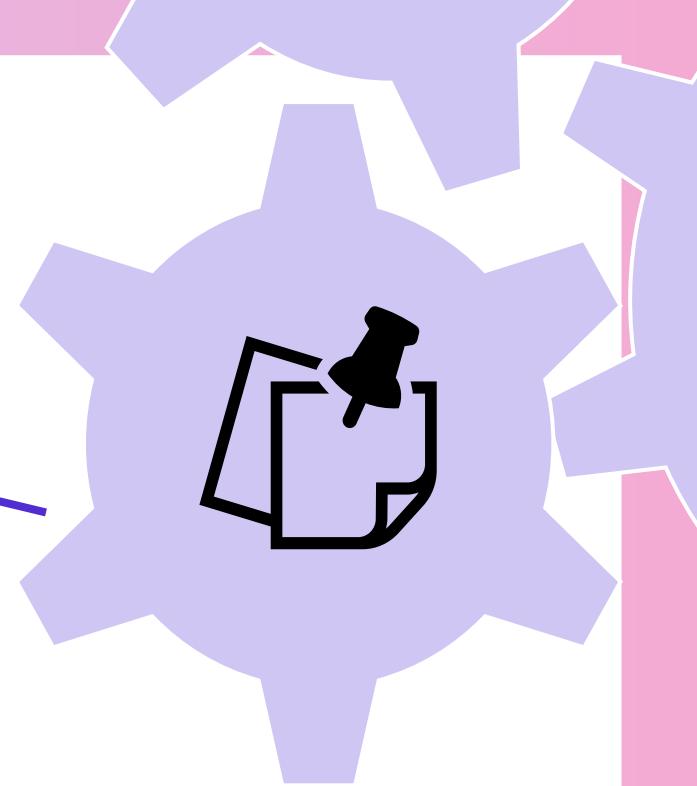
他者と協調・協働する力

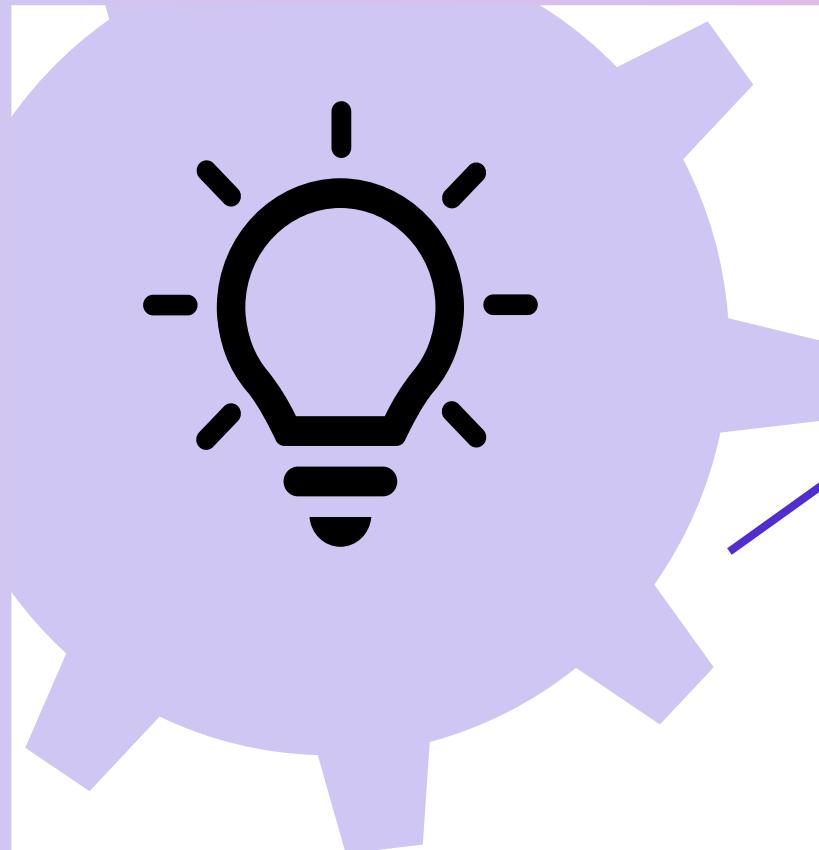
専門職が協働する介護現場を踏まえ、課題解決型学習を通して、協調・協働のコミュニケーションスキルやリーダーシップを育成する。



情報活用能力

介護データを分析し、科学的根拠に基づく最適な個別ケアを提案する力を育成する。





課題解決能力

DX時代に求められる課題解決力を育成するため、課題解決型学習を実施。試行錯誤を通じてレジリエンスを高め、福祉・介護現場や地域課題の解決に挑む

私たちの取り組み



科学的介護の実際を知る

- ・科学的介護についての講義
- ・認知症アプローチについての講義



介護ICTの体験・見学

- ・リフト（スカイリフト Hug）
- ・ハナスト（介護記録の音声入力）
- ・介護施設見学



データ活用を学ぶ

- ・データ分析や活用方法
- ・眠りスキャン
- ・HitomeQ
(見守りシステム)

介護福祉士



愛知県立古知野高等学校

私たちの取り組み



科学的介護の実際を知る

- ・科学的介護についての講義
- ・認知症アプローチについての講義



介護ICTの体験・見学

- ・リフト（スカイリフト Hug）
- ・ハナスト（介護記録の音声入力）
- ・介護施設見学



データ活用を学ぶ

- ・データ分析や活用方法
- ・眠りスキャン
- ・HitomeQ
(見守りシステム)

私たちの取り組み



課題解決型学習 (KOCHINO PBL)

課題解決型？

= Project-Based Learning

よりよい答えを探し続ける学び方



私たちの取り組み



共に生きる力

- ・認知症カフェの企画・運営
- ・子ども食堂の企画・運営
- ・認知症VRプログラムの作成



介護の魅力発信

- ・マッチョ介護士とのコラボ動画
- ・菊華高校さんとのコラボ企画
- ・家族介護者向けの動画作成



健康づくり

- ・認知症予防の体操を考案
- ・高齢者向けのエアロビクスを考案

今後について

科学的介護の学び

- ① I C T 活用の応用力不足
- ② データ分析をケア改善に生かす練習が必要
- ③ 環境づくり・寄り添い支援の強化
- ④ 外部講師との交流拡大

P B L の取組

- ① グループでの役割分担に偏り
- ② 情報整理・発表力、振り返り力の不足
- ③ 挑戦と振り返りを繰り返し、学びを定着
- ④ ポートフォリオの活用

産業界との連携

- ① 学びを自分の言葉で表現する場面が不足
- ② 体験前後の目的整理・振り返りを工夫
- ③ 学びを将来像につなげる実感を強化